

令和6年度 第2回都島区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
1	水辺のにぎわいづくりについて、水遊びができる施設など公園を整備する際には周囲の環境、ベンチやトイレの設置、ホームレスの問題、公衆トイレのメンテナンスなど多くの課題があるため、慎重に計画を立てる必要があると思う。	岡本委員	公園の施設の整備には維持管理が重要であるとの意見を受けました。現状では具体的な施設整備の予定はなく、既存の施設や樹木等の維持管理を行うこととなります。新たな整備計画があれば共有させていただきます。	(当日回答のとおり)	政策企画
2	・町会費の還元について、町会費は災害時などのために貯蓄する必要があり、還元は難しいと思う。また、町会加入より先に役員の成り手を見つけることが難しいため、役員に対するメリットを提供する方法があればいいと思う。 ・東都島では、町会加入者は、子ども食堂での大人料金が無料になるなど加入している人が特定のイベントで優遇される形で還元する方法を実施している。	多田委員 江川委員	町会費の還元については、9月24日に開催されたまちづくり・魅力部会において菰上委員から出されたご意見でございますが、区としても今後、地域の方々と情報共有を行うとともに、意見交換なども実施しながら、町会加入アクションプランの取組を進めてまいります。 また、役員の成り手を見つけるのが難しいという課題についても認識しておりますので、地域の方々と意見交換などを実施しながら区としても地域を支援してまいります。	(当日回答のとおり)	市民協働
3	・町会加入のメリットについて、町会費は事業を行うためのものであり、町会員が使うためのお金ではない。その事業に参加することがメリットだと考える。役員をやることで得られる達成感もメリットだと思う。 ・町会費の使途について、街灯の電気代や公園の水道代などに使われていること知らない方が多い。また、地域のお祭りや年末夜警などの行事にも使われていて、全く還元されていないことはないので、町会費の使い道を広く知らせることが重要だと考える。 ・町会活動に消極的な理由として、町会費の問題よりもめんどくさいからだとか聞きます。やってみたら大変なこともなく、友達もできるのでいいと思います。 ・町会はその所に住んでいる方のための活動であること、町会活動の意義を分かりやすく伝えることが必要だと考えます。特に若い世代に対して、町会活動の重要性を理解してもらう方法について、区役所から指南していただきたい。 ・児童遊園の管理や整備に町会費が使われていることを区役所が発信することによって、若い人や町会未加入の方に響くのではないかなと思う。 ・児童遊園の維持管理に関する発信を広報誌やYouTubeに掲載することで、町会に入っていない人が町会活動に興味をもつきっかけになるのではないかなと思う。	菱池委員 谷委員 西委員 菰上委員 高野委員	町会活動の意義や町会費の使途を分かりやすく発信することが重要だと認識しています。引き続き広報誌やSNS等を活用し情報発信に取り組むとともに、地域の祭りなどイベントを活用した情報発信にも取り組んでまいります。また、他区の良い取組事例も共有し、区民に浸透させる取組を続けてまいりますと考えています。	(当日回答のとおり)	市民協働
4	万博のアンケートで51%という数字が示されている、これは多いのかどうか教えてほしい。	岡本委員	51%の数字が絶対的に見てどうか、相対的に見てどうかという評価はできていませんが、5年度から7年度の取組でこのパーセンテージを高めていきたいと考えています。現状では比較的好い数字と思いますが、さらに高めていく必要があると考えています。	(当日回答のとおり)	政策企画
5	・安全・安心のまちづくりについて、防災教育の具体的な内容と対象について教えてほしい。 ・ジュニア防災リーダーには期待している。 ・区内での犯罪発生件数が増加していることについて、どのような犯罪が増えているのか、その取組が適切か確認したい。 特殊詐欺については、警察や金融機関、コンビニと連携して未然に防ぐ対策も合わせて願います。	花田委員	・防災教育は、小学校や中学校が主催する場に、区役所が出前授業や防災授業の形でサポートを行っています。 ・来年度からは、教育的観点も含めて、ジュニア防災リーダーやキッズ防災リーダーの導入に取り組んでまいります。 ・犯罪発生件数については、特殊詐欺が特に増えています。市民局と連携して、通話録音機の無料貸与の事業を行っています。	(当日回答のとおり)	防災地域活性

令和6年度 第2回都島区区域会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
6	・夜間の環境啓発活動や放置自転車の啓発活動とあるが、自転車が商店街び中を走ること、酒気帯び運転の方が危険。取り締まりを強化してほしい。	江川委員	放置自転車対策については建設局と連携して取り組みを進めており、撤去の数も減ってきています。商店街での自転車マナー・酒気帯び運転については、本市単独では難しいので、警察と連携し交通安全キャンペーンなどに取り組んでいきたいと考えております。	(当日回答のとおり)	防災地域活性
7	都島区まちづくりビジョンについて、京橋地域の商店街を盛り上げ、人を増やすことを求めているのか。天神祭を例にすると、人が増えるとかみが増えたりすることを嫌がる住民もおられるのが事実。まちを盛り上げ、人が増えると安全・安心が変わってくると思う。方針が明確でない。	江川委員	まちづくりビジョンは、京橋地域だけではなく、都島区が将来にわたってどういうまちになっていけばいいか、区の特性を活かしたまちづくりに取り組むため、中長期的な視点でのまちの課題を明らかにしつつ、目標とする将来像を定め、その実現に向けて施策・事業を戦略的に展開していくための指針として策定してまいります。	(当日回答のとおり)	政策企画
8	区民の声が区政に反映される仕組みづくりについて、都島区ではホームページやSNSで発信されているが、YouTubeなどでアーカイブ配信も行っている。区政会議の様子や区民まつりなどの行事をもっと積極的に発信してほしい。具体的に来年度どのような形で情報発信に取り組んでいくのか。	荻上委員	LINEについて、昨年度から大阪市の公式LINEに統一され、都島区では、市の公式LINEの都島区のカテゴリーの中で発信しています。またInstagramやユーチューブを使ってイベントの情報発信を行っています。区民まつりなどの行事も積極的に発信していきたいと思います。区政会議については、現状YouTubeでライブ発信を行っています。アーカイブ配信についても今後検討してまいります。	(当日回答のとおり)	政策企画
9	3月にみやこじまりパーフェスが雨天で中止になったが、今年度も継続してイベントを計画しているのか教えてほしい。	谷委員	今年度も来年3月に、万博の機運醸成も兼ねたリパーフェスを予定しています。一過性のイベントに終わらず、将来のまちの魅力アップやまちづくりに資する分析ができるような形で事務を進めています。	(当日回答のとおり)	政策企画
10	町会費の使い道が決まらないことが多く、イベントのアイデア出しや企画する人が不足しているのが問題。小さい単位でのイベントの共有や支援体制が必要だと思う。	山野委員	アイデアやイベントなどの企画支援については、区やまちづくりセンターに相談していただければ支援する方策があります。すでにご相談いただいた地域もございますので、ご相談いただければ区も一緒になって、地域の皆さんと進めてまいります。	大阪市では地域活動のさらなる活性化への支援を目的に、団体の皆さまからの要請に応じてさまざまな専門知識やノウハウをもった「地域公共人材」を派遣しています。 https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000273614.html	市民協働
11	SNSを活用してボランティアを集める仕組みを考えてほしい。例えば、LINEのグループを使って防災リーダーを募集するなど、もっと広げる方法を検討していただきたい。	下影委員	地域から要望があれば、地域行事のボランティアを集める手法の一つとして、まちづくりセンターのフェイスブックやチラシでボランティア募集の発信を行っています。さらに広げる仕組みについても今後検討してまいります。	(当日回答のとおり)	市民協働
12	行政の情報発信やマイナポータルや行政オンラインシステムが分かりにくく、住民が行政サービス情報を受け取りにくい。もっと気軽に簡単に情報にアクセスできるよう、使いやすいシステムやアプリを提供してほしい。また、町会アプリで意見交換や情報共有ができるようにしなければ、区役所からの情報を得やすく住民もつながりやすいと思う。	屋宮委員	区民の方に使いやすくなりやすい情報発信が必要と考えます。国や大阪府が提供するシステムについては、使いやすい仕様とするよう要望をあげてまいります。また、SNSのタイムリーな発信を行うとともに使いやすくアクセスしやすい情報発信の手法について検討してまいります。	(当日回答のとおり)	政策企画